



郵政産業ユニオン TOKYO

● 発行 ●
 郵政産業労働者ユニオン
 東京地方本部
 発行責任者 田中 孝史
 〒104-0031 中央区京橋 3-6-3
 京橋通郵便局 5F
 TEL・FAX 03-3535-5447
 piwutokyo@yahoo.co.jp

祝・第92回メーデー



春闘要求の支社交渉

要員不足を解消しろ!

3月25日に2021年春闘要求の交渉が行われました。年度内に交渉の場が持たれたのは久しぶり。早めの提出が功を奏したのか。それとも支社側の交渉員の異動があるためなのか。しかも、今までの狭い会議室ではなくそれなりの場所での交渉に。

交渉には集配担当の課長が同席、制度改正担当の出席も求めましたが、欠席。制度改正(土曜休配)については、早い段階で要求書を提出することを口頭で通告しました。



21春闘でストライキに入った4名の組合員・3月19日、目黒局前での集会

要員関係 65歳定年制が始まり60歳定年はないとの支社に対して、3月31日に離職する正社員数について求めました。約600人(再任用等を含む)と回答、新規採用は約60人。「各職場では要員不足で連日、残業。支社は要員不足の認識はないのか。現場との認識に大きなズレがある」と。

期間雇用社員の募集はいまだに変わらない人数との回答に、現場では組立担当の日数や時間数の削減が支社指導の下行われている。にもかかわらず、募集は変わっていないのはおかしいのではないか。支社は「募集の自身の違いがあるのではないかと。8時間では来ないので4時間を2名のところもある」と。配達の募集が難しいので組立担当を増やしておいて、コストコントロールというだけで簡単に切り捨てるこ

とは許されない。本人希望を優先するべきと主張。土曜休配を見越した要員配置なのか、に対し「現在各局との連絡等をしていない最中、土曜日の要員配置については確定していないとの回答です。」

勤務時間関係 昨年度は支社指導での時間管理があったが多くの職場で以前に戻っているとの報告。支社として責任ある指導をするべきであると主張、支社は今後指導していくと回答しました。

コロナ対策 密となる「ロッカー交換」について「来年度も予定している」と。支社は言葉だけで対策もなく、あまりにも無責任な回答である。直ちにやめるべきと強く主張。

2021春闘は組合としては前進の見込みなしとして交渉が終わりましたが、今後は期間雇用社員の処遇や土曜休配問題と問題は山積みであり、交渉部としては要求書の提出や窓口の活用など各職場の問題を解決していきたいと考えています。



コロナ禍の中、気軽に出かけることが出来ず、新しい刺激も少なく、ここ

に書くことが無くなっていく。そこで以前にも書いたプラモデルのことを書こう▼これからプラモデル作りを始めようとする人向けに最低限これだけあれば大丈夫な工具を紹介する。ニッパ、カッターナイフ、紙やすりの三点があれば、ガンプラなど大体組み立てられる。スケールモデルなら模型用接着剤が必要な場合が多い▼接着剤以外は100均でも買える。とりあえずひとつ組んでみたいだけなら100均で揃えてもいい。趣味として続けるなら、ある程度のもを購入した方が後々楽に▼とはいえず、高ければいいとも言えず、特にニッパは高い物は刃が鋭い分難に扱おうと刃が欠けたり、最悪刃先が折れたりする。他にもいろいろな工具があるが、実際に製作してみても、あったら便利だな、必要だなと思った時に購入を検討した方がいいと思う。



5・3憲法大行動に 集まろう！

21春闘の総括を討議

第3回支部長会議を開催

4月15日

郵政ユニオン東京地本は、4月15日に第3回支部長(支部代表者)会議を大塚の東部区民事務所においておこない、進行役に小関副委員長をおいて、田中委員長のおいさつから始まり、

本宮執行委員、その他の重要課題から30条関連を松原書記長から行われ質疑・討議に入りました。討議内容の一部ですが、の年連続ベアゼロを許さない・コロ

なのか・指名ストは支部役員も・学習会を・翌配見直して給与ダウン・スキルの差が出るのでは・土曜休配での出勤問題など出されました。ストライキに関しては春闘への課題とし、土曜休配・翌配見直しは出された問題も考慮し要求書を作成して支社へ提出していくことで討議は終了し、今後の行動提起を松原書記長がおこない、まとめを飯塚副委員長おこない会議を終了しました。

当面の行動日程

- 5月1日 第92回ミーデー
- 3日 憲法集会(国会正門前)
- 13日 第9回地本執行委員会
- 29日 非正規公務員に無期転換を求めるシンポジウム
- 6月5・6日第29回非正規社員
in愛知 オンライン集会
- 10日 第10回地本執行委員会
- 24日 第16回地方委員会